

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

## 510

2013年8月11日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
x-raajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
**町屋相談室**  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
x-yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧下さい。「横山幸次」で検索して下さい。

# 40年間の改修・改築経費… 推計1400億円・年平均35億円

## 公共施設の 老朽化問題・II

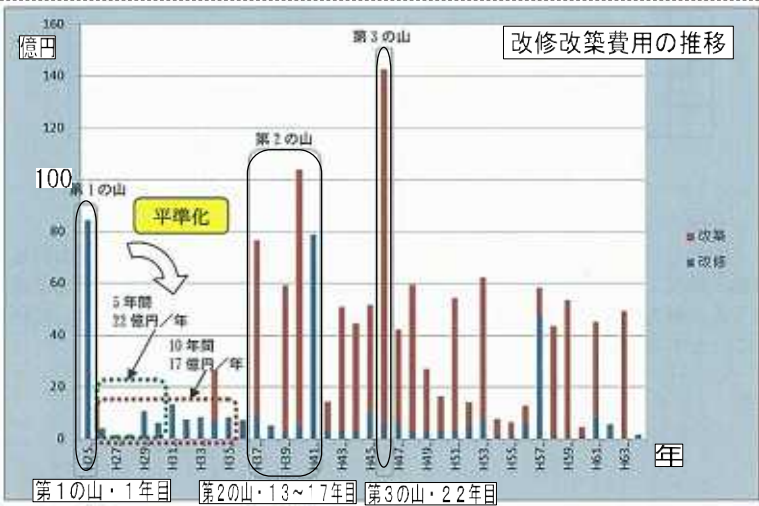


6年前に外壁改修した七峡小

「荒川区公共建築物中長期改修計画」によると10年後に約7割の公共建築物が築30年以上に。当然、改修や改築が必要となります。区の試算では、今後40年間の改修、改築に要する費用を1400億円と試算。第一の山(下図)で今後10年間に約170億円、年平均17億円となります。その後も築年数の関係で第二、第三の山が到来します。その際コミュニティ公共建築物のあり方、コスト面など多くの課題があり、区民的な議論が必要とされています。

項目	件数
外壁	47
屋上防水	33
照明設備	14
受変電設備(動力、電源設備)	71
弱電設備(電話、消防、放送設備)	56
給排水設備(給排水、衛生、給油設備)	70
空調設備(空調、換気設備)	50
合計	341

また、荒川区は、これまで事後保全(問題が起こったときに対処する)で維持してきたため大規模改修未実施が多く残されています。当面、大規模改修での長寿命化と予防保全を基本にすべきと思います。また建物にも寿命があります。改築の場合は、コミュニティやまちづくりの観点から十分区民



の声を聞いた対応が必要です。同時に、改修工事による維持と長寿命化は、新規建築工事と違って区内の中小建設業者が直接受注する機会が増える可能性を持っています。入札制度の改善なども行い、地域経済活性化の観点も取り入れることもしっかり位置づける必要があります。

**裏面** 社会保障はどうなる、区民の平均寿命など

## 定例法律相談会

### 9月2日(月)

午後6時～8時

### 横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627



**尾久の原公園の今後が気になり久しぶりにくると一回り…荒れた閉園区域と開放グラウンドの子どもの姿が対照的でした**  
猛暑の続く中、尾久の原公園を見て回りました。以前から閉園が続く区域が気になっていましたが、案の定、表面を覆うシートに乗せてあった土嚢は破れて土が出ていたり、その隙間から雑草が顔を出し、周辺には夏草が生い茂っていました(写真下)。

ただし開園区域では、原っぱで芝刈りが行われ使用できるようになっていました。一部が開放されたグラウンドでは、待ちかねたように子どもたちが、ゴールを移動してサッカーの準備(写真上)。少しずつでも日常に戻っているようです。一刻も早い全面開放のための対応が求められます。  
横山幸次



# 参院選が終わると早速 社会保障改悪案が発表されました

これって後出しジャンケン...

負担増と給付切り下げ、くらしの土台が壊され、消費税増税では社会保障充実にも逆行

昨年、自公民3党で成立させた「消費税増税と社会保障一体改革」法の具体化が社会保障制度改革国民会議（自公民3党が内閣に設置した協議機関）で議論され最終答申が出されました。その主なものをみると...

介護制度では... 要支援1・2を介護保険から外し、自治体の事業に移そうとしています。これは、要支援された場合、荒川区は、介護保険対象外に。介護保険給付費約5億5700万円が削減され、これまで同様に事業を行えば本人と区負担が増えることになり... (現在の無年金者にも適用)。

保育	医療	介護	年金
<ul style="list-style-type: none"> <li>公的責任を投げ捨てる「新システム」推進</li> <li>規制緩和による質の引き下げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>70~74歳の窓口負担倍増（1割→2割）</li> <li>入院時の給食の患者負担引き上げ</li> <li>紹介状がない大病院の受診に定額負担導入</li> <li>保険料アップにつながる、国民健康保険の都道府県運営への移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援1と2を保険給付から除外</li> <li>一定以上の所得者の負担引き上げ</li> <li>施設の居住費・食費を軽減する補給給付の対象縮小</li> <li>特養ホームから「軽度者」しめだし</li> <li>デイサービスを削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支給額を減らすマクロ経済スライドの毎年実施</li> <li>支給開始年齢の引き上げの検討</li> <li>「高所得者」への支給額を削減。課税を強化</li> </ul>



高齢者だけの問題ではありません  
この報告では社会保障給付が「高齢世代中心」だったとして、高齢者に過酷な負担強化、給付削減を提起。しかしその影響は、高齢者だけに止まりません。例えば、要支援が介護からはずされた場合、現役世代に負担が重くのしかかります。今でも問題になっていますが、家族を介護するために仕事を辞める「介護離職者」を激増させかねません。  
また、医療費の窓口一次負担の引き上げが実施された場合、受診抑制がひどくなり早期発見早期治療の機会が奪われます。結局重症化が増加して医療費の増加が懸念されます。

## 荒川区の平均寿命・男性は23区で最下位 女性の寿命伸び率はトップクラス...その原因は？

2010年の平均寿命と対05年比 (単位:歳)

区名	男性	区名	女性
杉並	81.9 (1.2)	杉並	88.2 (1.6)
目黒	81.5 (0.6)	目黒	87.7 (0.7)
世田谷	81.2 (0.6)	世田谷	87.5 (0.7)
渋谷	80.5 (0.0)	中央	86.7 (1.4)
文京	80.4 (1.0)	練馬	86.7 (▲0.1)
緑	80.3 (▲0.9)	千代田	86.6 (1.2)
中央	80.1 (0.9)	新宿	86.6 (0.6)
千代田	80.1 (1.1)	渋谷	86.6 (▲0.1)
港	79.9 (▲0.1)	港	86.5 (0.7)
新宿	79.8 (0.4)	豊島	86.3 (0.4)
豊島	79.6 (0.5)	品川	86.2 (0.7)
中野	79.6 (0.0)	中野	86.1 (0.0)
大田	79.4 (0.4)	文京	86.0 (0.4)
品川	79.3 (0.5)	大田	86.0 (0.5)
北	79.0 (1.0)	板橋	86.0 (0.2)
板橋	78.9 (▲0.4)	葛飾	86.0 (1.5)
江戸川	78.6 (0.7)	荒川	85.8 (1.2)
江東	78.6 (0.8)	墨田	85.7 (1.2)
足立	78.5 (0.9)	台東	85.6 (0.6)
葛飾	78.5 (0.8)	北	85.5 (0.1)
墨田	78.1 (0.4)	江東	85.4 (0.8)
台東	77.9 (1.2)	足立	85.4 (1.0)
荒川	77.8 (0.2)	江戸川	85.4 (1.1)
区平均	79.5 (0.4)	区平均	86.3 (0.7)
都平均	79.9 (0.5)	都平均	86.4 (0.7)

厚生労働省が7月31日発表した2010年の市区町村別の平均寿命で、荒川区は男性が23区で最下位でした。トップは杉並区(81.9才)荒川区は77.8才。女性もトップは杉並区(88.2才)荒川区は85.8才で下から6番目。また5年前との比較(左表)では、女性の場合、1.2歳トップクラスの伸びですが、男性は0.2歳の伸びに止まっています。区は「山谷地域の住所不定を抱えているから」等と言っているようですが、早期発見、早期治療、生活習慣、貧困との関係、ひとり暮らしの状況など突っ込んだ説明と問題解決の対策が必要です。  
健康都市宣言をしている区にふさわしい取り組みが必要です。

## 商店街の買い物配達サービス

昨年10月から南千住8丁目の「べるぼーと汐入商店街」で開始。これまで最高で1日30件、平均で16件程配達をしています。今度は、9月から「おぐざんざ商店街」でも実施することになりました。  
利用対象者は、高齢者・障害者・妊婦など無料です。  
利用時間：月～土13時から20時  
配達範囲：東尾久・西尾久  
今は、配達の人件費分を区が補助していますが、これから拡大する方向で区としての対策の強化を求めたいと思います。

